

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月24日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	塵芥収集指導・啓発事業	コード	81114
-------	-------------	-----	-------

2 担当部課	部等 市民環境部	課等 環境課	作成者 藤木 光平
--------	----------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち		
		政 策	循環型社会の構築	施 策	廃棄物対策の推進
		予算科目	塵芥収集指導啓発事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	廃棄物処理及び清掃に関する法律第6条の2		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	ごみ減量と3Rの推進を図るため、講習会や学習会を開催、啓発イベントの実施、広報・チラシなどによる意識啓発活動を行う。		
目的	対象者	市民や事業者	
	意 図	ごみ減量と3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進	

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・25年度の地区別収集日程表をカレンダー形式に変更し全戸配布した。 ・カレンダーの裏面には、「家庭ごみの分け方・出し方」のイラスト入りの説明を掲載した。 ・25年度は地区別カレンダーに6社の広告を掲載した。 ・清掃工場閉場に伴い、新施設建設までのごみ減量について説明会を通して啓発を行った。 ・ごみの分別ができていない、燃えないごみ、燃えるごみ、新にその他プラスチックや生ごみに違反シールを貼付し注意を促した。排出者がわかるものは排出者に対し、直接指導を行った。 ・衛生事務嘱託員を委嘱し、ルールの守られない排出者に対し、指導を行った。 ・地区衛生自治会の方々と、定位置において分別の手伝いを行った。 			
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集日程表をカレンダー形式に変更した。 ・清掃工場閉場に伴い説明会を通じてごみ減量の意識啓発を行った 		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	出前講座などの勉強会、工場見学、月間などの事業件数			単位	件数
実績値	79	67	48		
*指標の説明	学習会の開催数（サンデーリサイクルは除く）				
② 成果指標（指標名）	違反シール貼付等に対する指導件数			単位	枚
目標値	10,615	10,032	9,071	5,678	
実績値	11,147	10,079	6,303		
達成度	95.2%	99.5%	143.9%		
*指標の説明	*違反シール貼付に対する直接指導件数				
*目標値の設定方法の説明	*前年度の指導件数の実績値×0.9				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	2,805,717	1,531,892	1,098,968	1,366,000
経常経費	2,805,717	1,531,892	1,098,968	1,366,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明	-			

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	10,000,000	9,600,000	6,800,000	6,800,000
正規職員の人数(人)	1.25	1.20	0.85	0.85
③ 合計コスト(①+②)	12,805,717	11,131,892	7,898,968	8,166,000
前年度比		86.9%	71.0%	103.4%
財源	12,505,717	10,831,892	7,598,968	7,866,000
内訳				
一般財源	12,505,717	10,831,892	7,598,968	7,866,000
特定財源	300,000	300,000	300,000	300,000
* 特定財源の説明	* 広告料収入			
④ 活動一単位あたりコスト	162,098	166,148	164,562	
前年度比		102.5%	99.0%	
⑤ コストに関する補足説明	-			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	159.9%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	
成果指標の目標値 達成度	143.9%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課 題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別の方法が、市民に浸透していない。 ・区に入らない未加入者やアパートの住人、外国人もルールが守れていない。 ・説明会を開催しても、環境やごみ減量に関心のある人の参加は得られるが、分別が出来ていない人の参加が得られない。
改 善 方 法	<p>(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>ごみ減量へ「まったなし」を共通のキーワードとして、ごみの発生抑制、分別についての意識啓発を図る。</p> <p>湖周2市1町における分別の統一についての検討を進め、新施設稼動に合わせ新たな分別ガイドブックの作成を検討する。</p> <p>「広報おかや」や「ホームページ」、新聞、テレビ・ラジオなどの媒体を使って周知を図る</p>
改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---